

中芸高だより

平成 23 年度
第 2 号

企業・学校訪問

五月十二日(木)・三年次生が「企業・学校訪問」を行いました。
当日は三つのコースに分かれ、大学・専門学校、南国市や高知市の二つの企業を訪問しました。
参加した生徒は、将来の進路に向けて意識を深め、進路選択の参考にしたことと思います。



球技大会



六月十七日(木)、第六回球技大会が行われました。
競技は、バドミントン・卓球・オセロの三種目あり、学年別対抗で行われました。三年生が優勝しました。学年間の団結を深め、皆で勝利に向けて健闘していました。



PTA総会



五月二十八日(土)、平成二十三年度PTA総会が行われました。
総会に先立ち、株式会社ライセンスアカデミーの又吉聡志氏による「進路ナビゲーション」の進路講演会がありました。その後は、生徒による「平成二十二年中芸学北川村班発表」「平成二十二年度プレゼンフェスタ」を行いました。
PTA総会では、平成二十二年度の事業報告・決算監査報告の他、平成二十三年度の事業計画・予算案・PTA役員選出等の審議が行われ、承認されました。
また、学校説明会では、学校長より教育方針、学校の取り組みについて説明がありました。

進路講演会では、次のようなことを話していただきました。

演題「進路ナビゲーション」

講師：又吉聡志 氏
(株式会社ライセンスアカデミー)

夢や目標を実現するためには、
・ 有意義な高校生活を送るために進路について考えよう。
・ 進路選択の助けになる職業や学びの情報を得よう。
・ 将来を大きくする進学・就職知識を学ぼう。
の3点の準備がとても大切です。

また、学力を伸ばし、充実した高校生活を過ごすこと、物事に興味・関心を持つことで進路の選択肢を増やしていきましょう。進路選択は、人生の選択と同じことです。

実社会で求められるものは、
・ 目指すはナンバーワン
・ 頑張るより結果
・ 志高く努力を惜しまない
の3点です。実社会では、「結果」が求められますが、それに至るプロセスには「本気になった経験」が通用します。高校生活では、何事にも「本気」になりましょう。

そして、目標を決め、努力をしましょう。勉強して学力向上を目指します。競争社会の中で今やらなければいけないのは、『勉強』です。それから、考えましょう。考えることが一番大事です。

高知県では、専門学校進学者が多いです。しかし、大学などに比べて進路変更が難しいため、「本気」で取り組む必要があります。



救急法校内研修会



五月二十四日(火)、昼間テスト中に、教職員対象の救急法研修会が行われました。
中芸広域連合消防本部の方々をお招きし、緊急時に必要な救助や手当について正しい救急法の知識と技術を身につけることを目的に、心肺蘇生法やAEDの使用方法等を教えていただきました。
参加した教職員は、緊急時に備えて迅速・冷静に対応できるよう熱心に取り組みました。

進路ガイダンス



六月三十日(木)、七月一日(金)の両日、全学年対象に進路ガイダンスが行われました。
三十日は、社会の第一線で働いている方の話を聴くことで職業観・進路意識を形成し、働くということ、社会の一員になることの意味を考えることを目的として、株式会社栄光工業社長の中山博之氏より職業意識形成に向けた講話をしていただきました。

一日は、九つの大学・専門学校の先生方や高知県社会保険労務士会の方に実技も伴った模擬授業と、三年次対象の進学相談会を行っていただきました。また、一・二年次生と三年次生就職希望者対象に、高知情報ビジネス専門学校校長の中西廣氏に進路意識形成に向けた講話をしていただきました。

三年次生にとっては自己の職業適性を見極め、具体的な将来設計を描くとともに、目前に迫った進路決定の材料になりました。一・二年次生にとっては将来の進路に向けて意識を深め、進路実現について考える良い機会となりました。